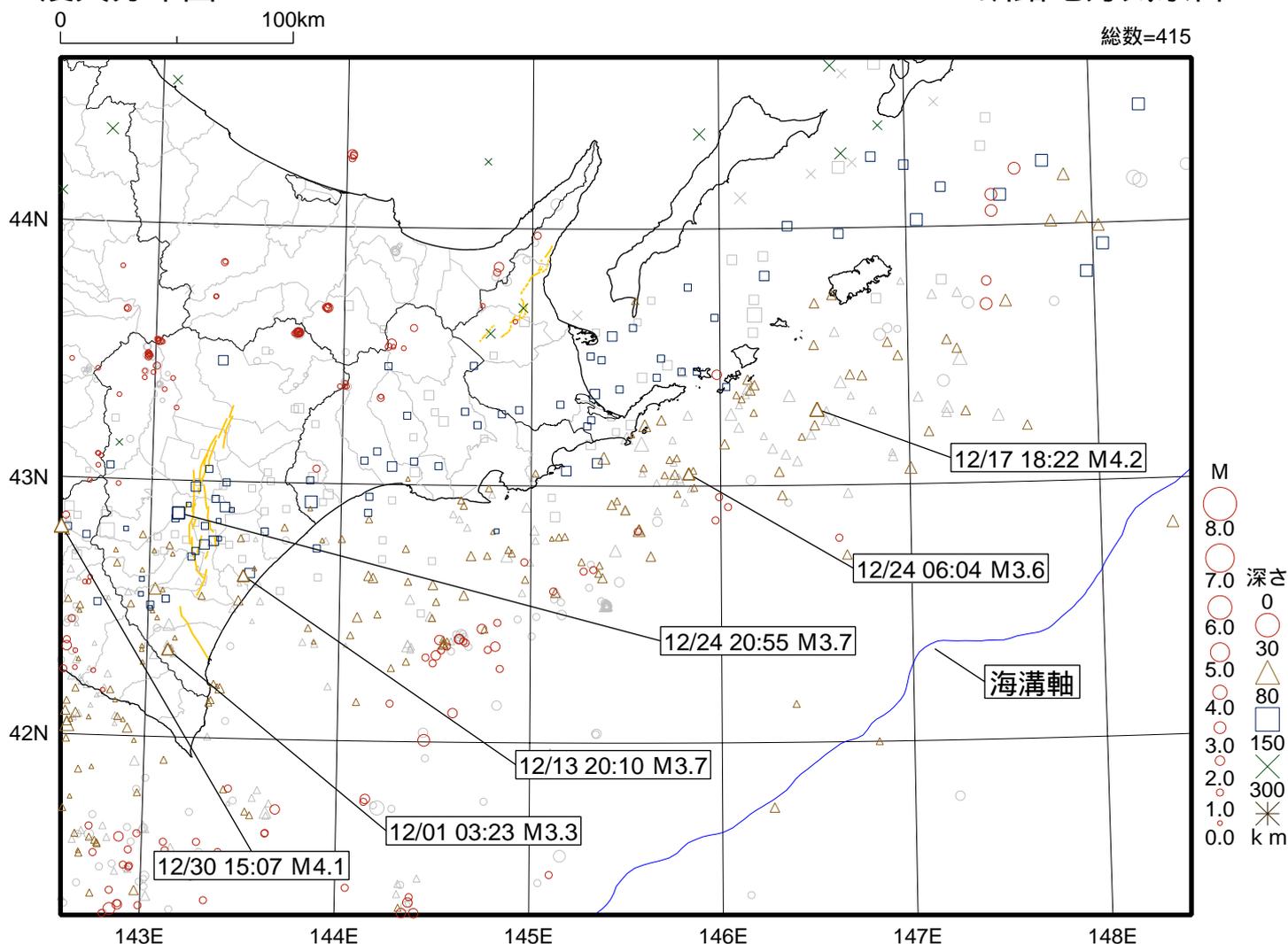


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2023年12月1日～2023年12月31日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2023年12月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は8回(先月11月は12回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

13日20時10分、十勝地方南部を震源とする地震(M3.7、深さ69km)により、浦幌町で震度2を観測したほか、十勝地方中部で震度1を観測しました。

28日18時15分、択捉島南東沖を震源とする地震は(M6.6、深さ30km、震央分布図の範囲外)により、釧路市、釧路町、厚岸町、標茶町、白糠町、根室市、中標津町、別海町、標津町、浦幌町、大樹町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

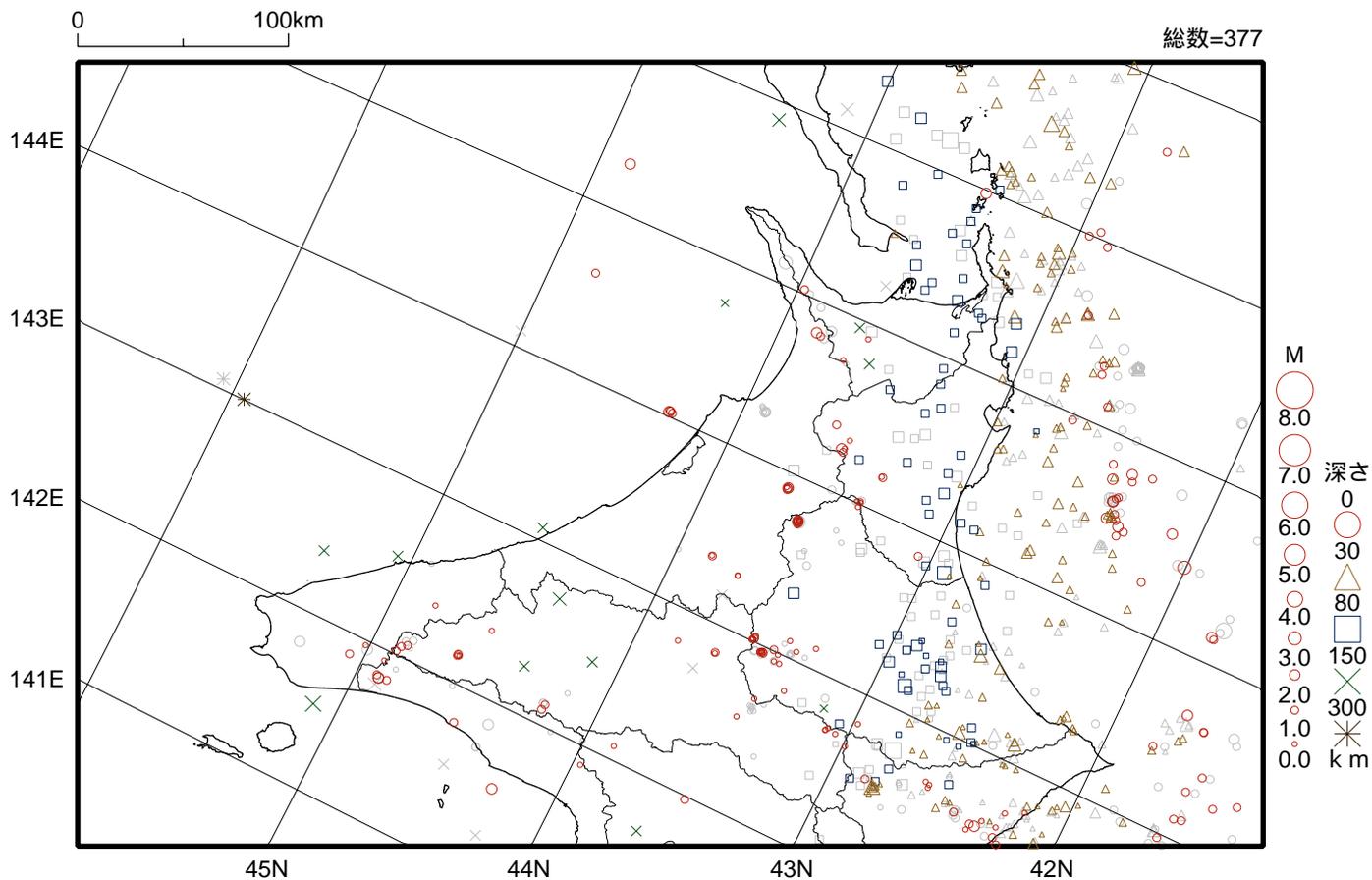
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

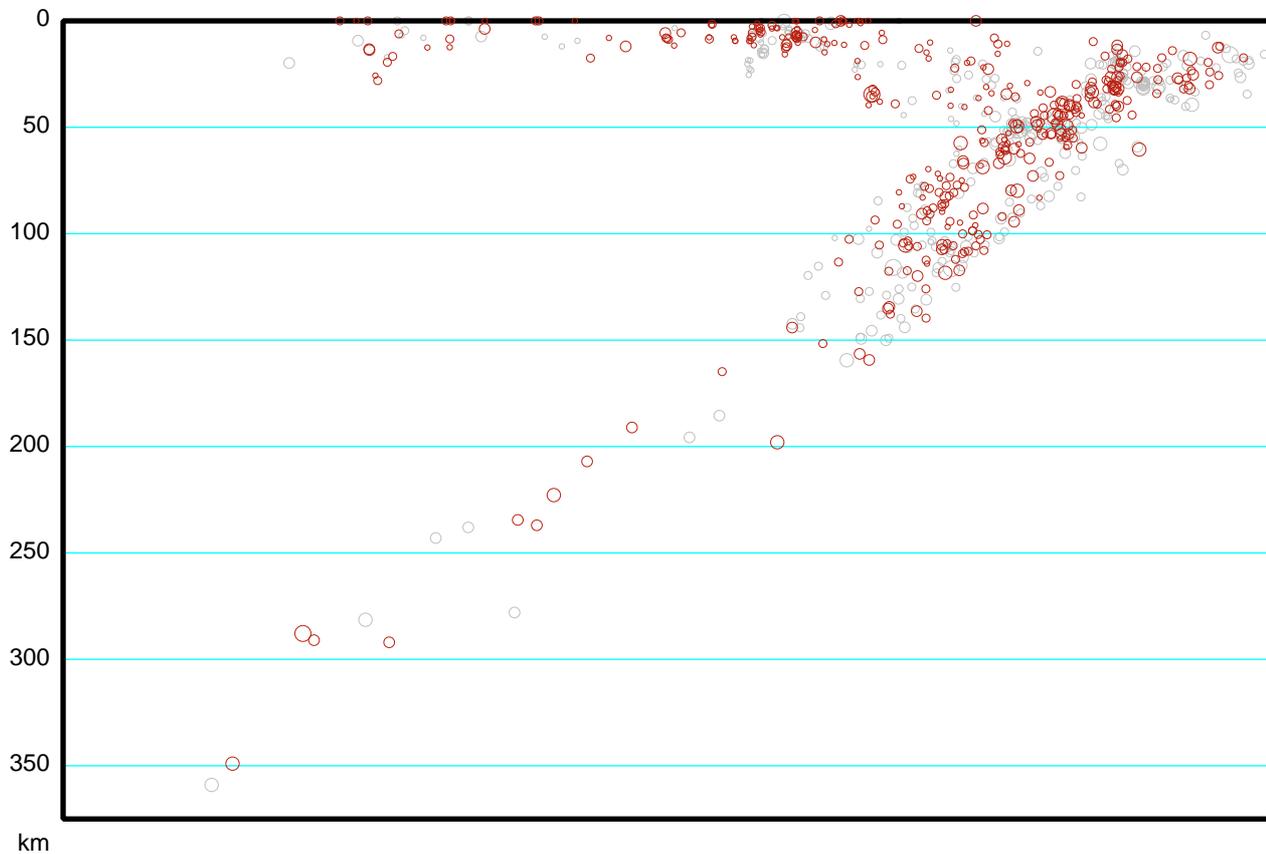
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2023年12月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図



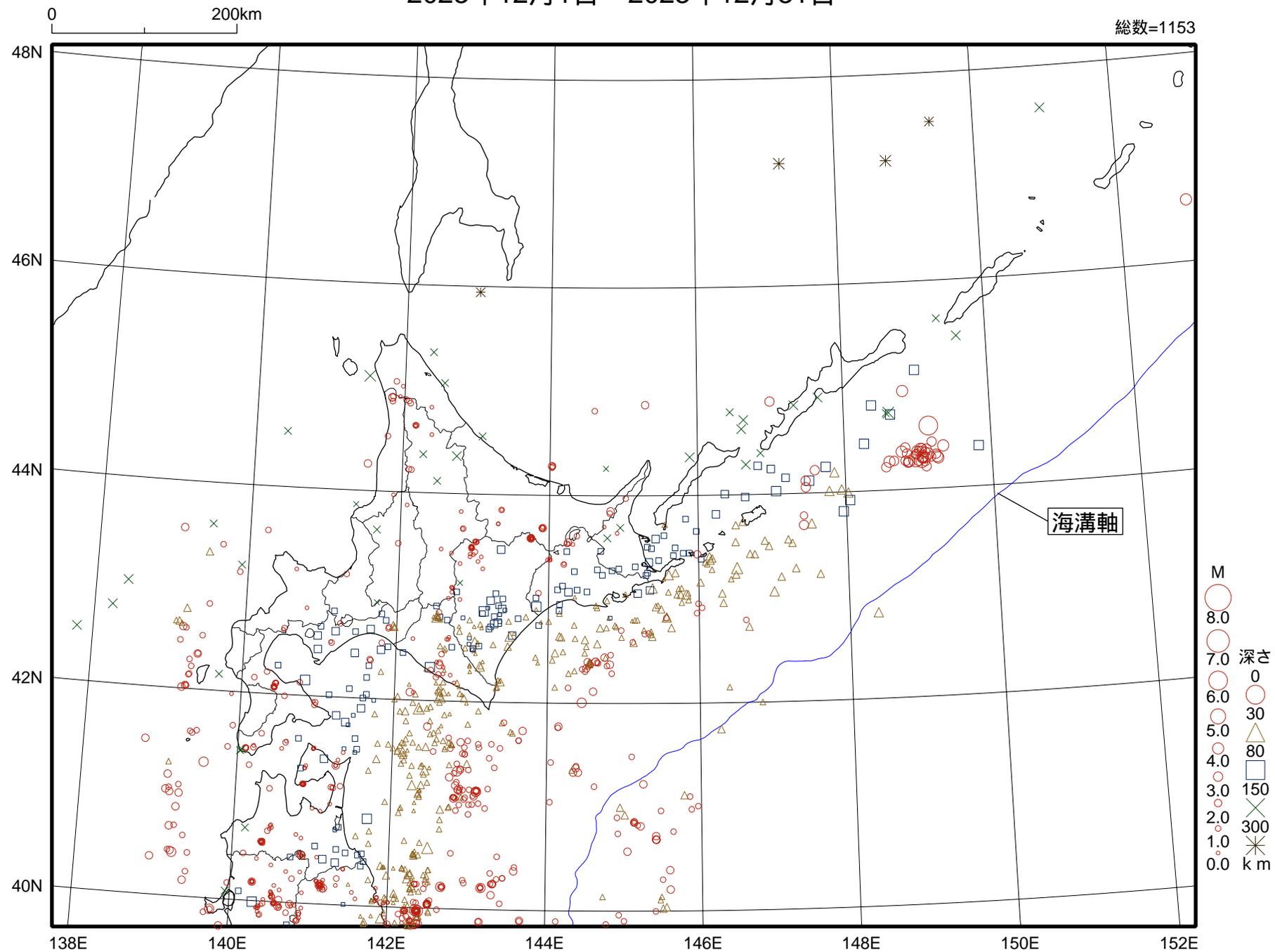
断面図



北海道の地震活動図

2023年12月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2023年12月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2023年12月1日 十勝地方	03時23分 震度1	十勝地方南部 更別村更別*(05)	42°20.4 N	143°06.4 E	50 km	M3.3
2023年12月13日 十勝地方	20時10分 震度2 震度1	十勝地方南部 浦幌町桜町*(15) 幕別町本町*(06) 十勝池田町西1条*(12) 豊頃町茂岩本町*(10) 本別町向陽町*(05)	42°38.0 N	143°29.5 E	69 km	M3.7
2023年12月17日 根室地方	18時22分 震度1	根室半島南東沖 根室市落石東*(12) 根室市瑠瑠*(09)	43°17.7 N	146°30.7 E	45 km	M4.2
2023年12月24日 根室地方	06時04分 震度1	根室半島南東沖 根室市瑠瑠*(10)	43°02.8 N	145°49.8 E	39 km	M3.6
2023年12月24日 十勝地方	20時55分 震度1	十勝地方中部 新得町2条*(05) 帯広市東6条*(07) 十勝清水町南4条(05)	42°52.3 N	143°08.6 E	106 km	M3.7
2023年12月27日 十勝地方	07時53分 震度1	浦河沖 新得町2条*(09) 帯広市東4条(11) 帯広市東6条*(11) 音更町元町*(09) 土幌町土幌*(05) 十勝清水町南4条(10) 芽室町東2条*(08) 幕別町忠類錦町*(12) 十勝池田町西1条*(08) 本別町北2丁目(07) 本別町向陽町*(05) 浦幌町桜町*(13) 十勝大樹町東本通*(08) 広尾町並木通(11) 広尾町白樺通(11)	41°55.2 N	142°19.4 E	70 km	M4.6
2023年12月28日 十勝地方	18時15分 震度2 震度1	択捉島南東沖 浦幌町桜町*(18) 十勝大樹町東本通*(15) 新得町2条*(12) 足寄町上螺湾(05) 帯広市東4条(09) 帯広市東6条*(11) 十勝清水町南4条(14) 幕別町忠類明和(06) 十勝池田町西1条*(11) 本別町北2丁目(10) 中札内村東2条*(12)	44°36.1 N	149°09.2 E	30 km	M6.6
釧路地方	震度2	釧路市黒金町*(16) 釧路市阿寒町中央*(15) 釧路市音別町中園*(17)				
	震度1	釧路町別保*(21) 厚岸町真栄*(15) 標茶町塘路*(17) 白糠町西1条*(20) 弟子屈町美里(11) 弟子屈町弟子屈*(11) 弟子屈町サワチサップ*(08) 釧路市幸町(14) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(11) 厚岸町尾幌(09) 浜中町湯沸(09) 標茶町川上*(12) 鶴居村鶴居東*(13)				
根室地方	震度2	中標津町丸山*(19) 標津町北2条*(19) 別海町常盤(21) 別海町本別海*(18)				
	震度1	根室市厚床*(15) 根室市落石東*(20) 根室市瑠瑠*(15) 中標津町養老牛(05) 標津町古多糠(09) 標津町薫別*(08) 羅臼町春日(07) 羅臼町緑町*(13) 羅臼町岬町*(14) 根室市弥栄(08) 根室市牧の内*(09)				
2023年12月30日 十勝地方	15時07分 震度1	日高地方西部 新得町2条*(14) 十勝清水町南4条(08) 十勝池田町西1条*(08)	42°48.6 N	142°31.8 E	35 km	M4.1

*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

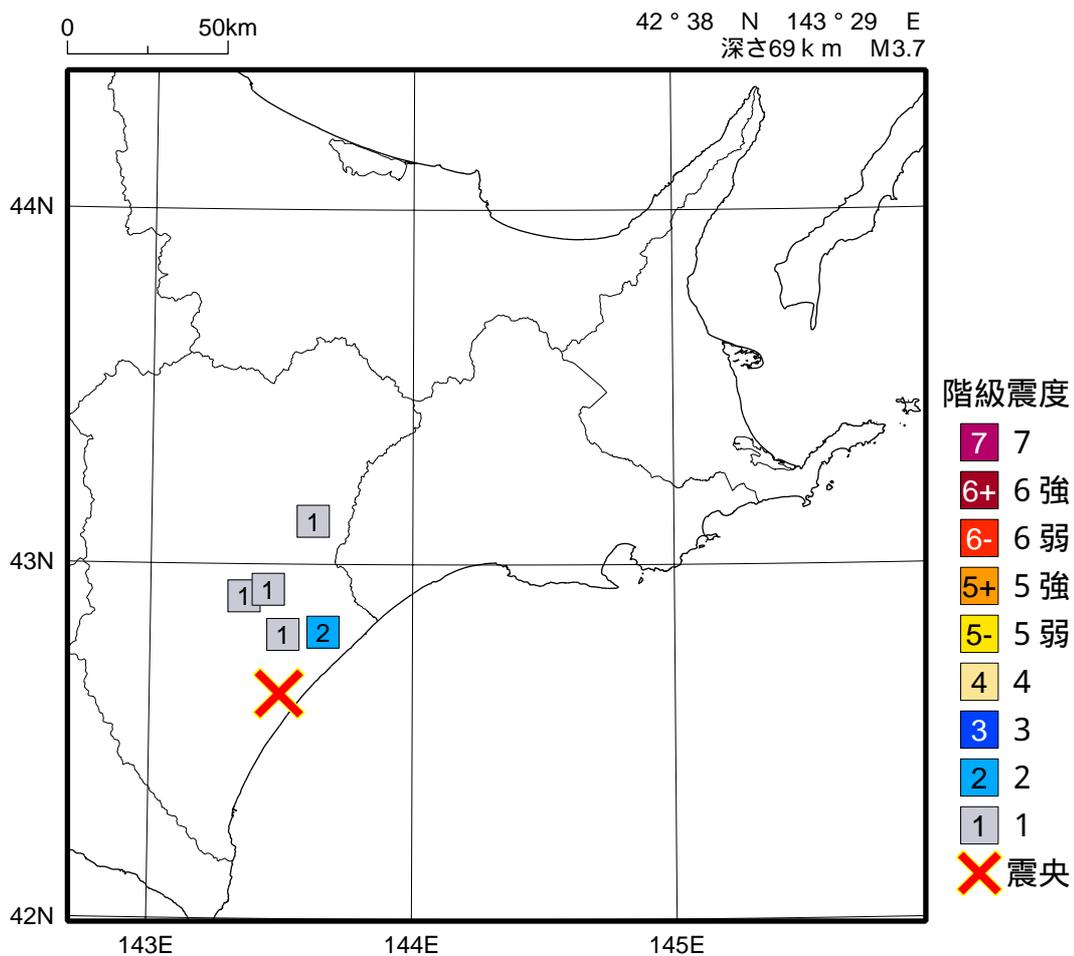
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

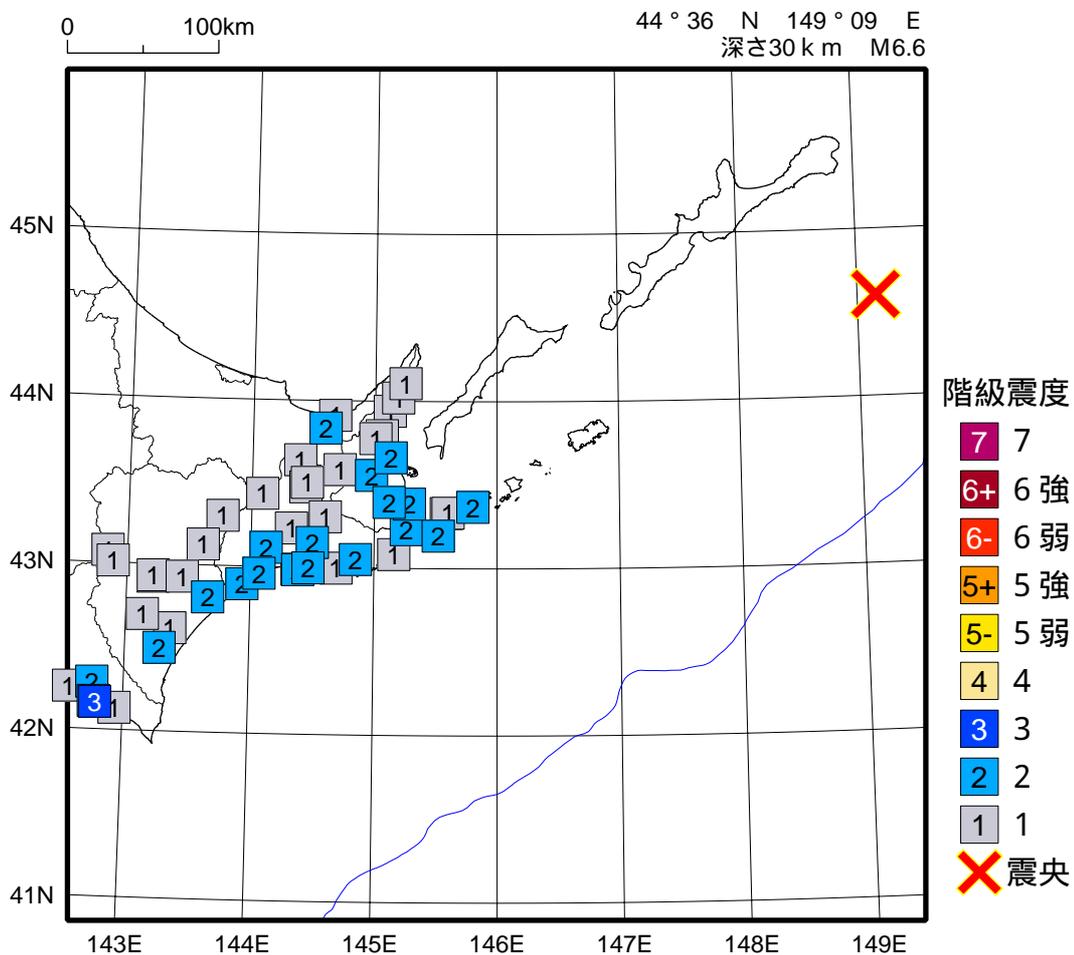
本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号平29情使、第798号)。

2023年12月13日20時10分 十勝地方南部の地震の震度分布図



2023年12月28日18時15分 択捉島南東沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～冬の地震・津波への備え～

発生が切迫している日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・大津波をはじめ、冬に大地震が起こると、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さによるリスクが増大します。怪我をしたり、命を失うことなど無いよう、冬の大地震や津波には以下の点に注意して備えて下さい。

1. 雪や凍結路に対する備え

屋根に多量の雪が積もっていると、地震の揺れにより、屋根から落雪したり、雪の重みで家屋が倒壊したりする恐れが大きくなります。落雪は人を巻き込む危険があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。また、山沿いや傾斜地の雪崩危険箇所では、雪崩にも注意してください。

冬季に地震・津波から避難する場合、路面の積雪や吹雪などにより時間がかかります。避難場所までの経路は事前に確認しておきましょう。路面が凍結していると滑りやすく、避難の移動中に転倒して負傷する恐れもあるため、路面状況をよく確認し慌てず避難しましょう。



2. 火災に対する備え

暖房を使っている冬場に地震が発生すると火災のリスクが高まります。転倒時の自動停止機能があっても、停電から復電すると再起動したり、損傷した電気配線から漏電したりして出火する「通電火災」に注意が必要です。暖房器具のそばには可燃物を置かないようにして下さい。避難の際は、ブレーカーを切ってガスの元栓を閉めるようにしましょう。地震を感知して自動的に電気を遮断する感震ブレーカーを設置することも有効です。



3. 寒さへの備え

地震で電気やガスが止まり、普段の暖房器具が使えなくなるかもしれません。こんな時にも使用できるポータブルの暖房器具があると安心です。また、避難時に低体温症にならないため、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなども用意しておきましょう。冬季は身支度に時間がかかるので、これらは玄関などにまとめて用意しておくといいでしょう。



4. 雪についての情報

気象庁ホームページでは「今後の雪」の情報を提供しています。積雪の深さと降雪量の分布について、各地の24時間前からの状況と6時間先までの予想が地図上で確認できますので、避難路の確保等にご活用ください。

「今後の雪」 <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

